

被災地への全国からの 応援職員を紹介します

平成 29 年 1 月

- ①氏名 ②派遣元団体 ③所属課（業務内容）
④派遣期間 ⑤自己紹介

双葉町

①橋本 美喜子（はしもと みきこ）

②福島県

③復興推進課（支援員）

④平成 27 年 11 月 1 日 ～ 平成 29 年 10 月 31 日まで

⑤子育てのため仕事から離れている時に震災にあい、資格を生かして何か役に立てないかと思い福島県の任期付職員に応募しました。

現在は双葉町郡山支所にて主に中通り地方、会津地方に避難している方への健康相談や訪問、健診などを通じて住民の方の健康づくりのお手伝いをさせていただいています。日々、住民の方と接する中で、私の方が元気をもらっています。

住民の健康づくりのために少しでもお役に立てるよう、職員の方々と協力していきたいと思います。



大熊町

①市岡 美奈（いちおか みな）

②福島県

③健康介護課（母子・成人・精神保健等）

④平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤保健師として、原発事故を他人事とせず何らかの形で関わりたいとの想いで福島県の任期付職員に応募しました。ご縁があって大熊町派遣となってはや 4 年。いまだに“大熊弁”がマスターできないのが悔しい…(福島弁は奥が深いのです)。町民そして職員に支えていただきながら“町の保健師さん”しています。

それと。県内観光にも貢献中。四季折々の自然と豊かな温泉。福島にはまっています！



川内村

- ①飯塚 由佳（いいつか ゆか）
- ②福島県
- ③保健福祉課(母子保健、予防接種)

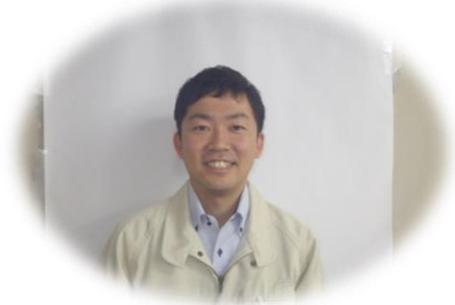


- ④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで
- ⑤父親が被災地の任期付派遣職員として働いており、被災地の様子など話を聞いていたので、いつかは復興支援に携わりたいと思っていました。派遣先では主に母子保健と予防接種を担当しています。前職も保健師をしていましたが、違う業務を担当していたので新鮮な気持ちで取り組んでいます。

川内村は昨年全村解除になりましたが、帰村される方は少ない状況です。微力ながら住民の方が安心して生活できるよう取り組んでいきたいです。

三春町

- ①長田 篤（ながた あつし）
- ②愛知県尾張旭市
- ③住民課 生活環境グループ
(狂犬病予防事業、環境保全・公害対策等)



- ④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで
- ⑤愛知県尾張旭市から派遣されております。

以前から、少しでも三春町のお役に立てればと思い、今回派遣を希望しました。福島県は、想像以上に寒いところでした。5月初旬までストーブをつけて生活をするとは思ってもみませんでした。

三春町の職員は、みなさんとても親切で優しく、仕事のしやすい職場です。

学ぶことが大変多いので、三春町で学んだことを尾張旭市で活かせるよう、残り少ない三春町での職務を頑張っ参ります。

広野町

①形山 千明（かたやま ちあき）

②復興庁福島復興局

③放射線対策課（放射線に関する情報発信）

④平成 27 年 7 月 1 日 ～ 平成 29 年 6 月 30 日まで

⑤東日本大震災を知ったのはブラジルでした。当時、ブラジル近辺の南アメリカの日系団体だけでなく、多くの人々が日本の大震災に心を寄せました。日系 1 世の人々は喪に服するようにイベントを止め、若い世代は寄付を集めるために新しいイベントを企画しました。私も帰国したら福島復興に携わってみたいと思っていました。国内外の友人達に、福島の今を伝えられる存在でありたいと思っています。



①原 豊志（はら とよし）

②大分県中津市

③環境防災課(生活環境に係る業務全般)

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤退職することの物足りなさ、新しいことをやりたいとの思いの中で、災害支援派遣の話があり何かお手伝いできればと応募しました。福島は、自然豊かで粘り強い気質と聞いていましたが、そのとおりだと思います。私は広野町で、町民の「生活再建」と「幸せな帰町」そして、「心の復興」に職場の仲間と共に、行政経験を活かした環境改善に取り組んでいます。時間が許せば見聞を広め自然に親しみ福島の情報発信に努めたいと考えます。



浪江町



①金子 範彦 (かねこ のりひこ)

②東京都

③産業振興課 (農用地等災害復旧)

④平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 8 月 31 日まで

⑤未曾有の大災害の発生に際し、阪神・淡路大震災派遣の経験も活かして被災地の復旧・復興に貢献したいと思い、志願しました。また、学生時代を宮城県仙台市で過ごし、在学中に宮城県沖地震に遭遇したことも他人事とは思えず、それも背中を押したと思います。

浪江町は福島第一原子力発電所事故の影響が大きく、迅速な復旧・復興を妨げています。困難な状況下にあります。これまでの経験や知見を活かして微力ながら復旧・復興に貢献していきたいと思えます。

①平井 智子 (ひらいともこ)

②岡山県赤磐市

③産業振興課 (産品振興・観光振興、帰還促進・事業再開促進事業)

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤4年前にも2週間だけ派遣で来ていたのですが、短期間で何もできませんでした。3年前から長期派遣に変更されたので改めて希望し、4月から浪江の本庁舎で勤務しています。

担当業務の関係で、色々な場所に行くことや、町民の皆さんと触れ合う機会が多く、楽しく仕事をさせていただいています。

福島は岡山と同じで果物が美味しいですし、浜通りの気候も実家とあまり変わらないので、自分にはとても合っていると思います。

写真は職場の仲間との一枚です。左から2番目が自分です。



相馬市

- ①皆川 勝（みながわ まさる）
- ②神奈川県
- ③建設部建築課（電気設備、機械設備の工事管理）
- ④平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで



⑤震災復旧復興のお手伝いがしたく神奈川県の任期付職員の募集を知り応募しました。自宅は宮城県名取市、実家が新潟県阿賀町（西会津町の隣町）にあり、時々実家に帰るので職場は中間点の福島を希望したところ相馬市への派遣となりました。

相馬市の皆さんは優しく親切で困ったことがあればすぐ相談出来る環境になっており、特にメンタルヘルスの教育は充実、派遣職員にとっては非常に助かっております。

相馬は夏は涼しく、冬は雪が少なく、お魚は美味しく、住みやすい街です。任期終了まで相馬市で頑張りたいと思います。



-
- ①上田 勝雄（うえだ かつお）
 - ②福島県
 - ③建設部建築課（現場監理）
 - ④平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで
 - ⑤福島県市町村総室より相馬市へ派遣されてから 3 年 8 か月がたちました。

その間災害復旧復興による地域の施設の建設に関与してきました。地域の方々とお話する機会も何度かありました。

未だ先が見えないと話される方に何度かお会いし復興の難しさを感じました。

今の自分に何が出来るか考えたこともあります。目の前の事をひとつひとつ積み重ね、何かお役にたてれば幸いです。



- ①土佐 裕子（とさ ゆうこ）
- ②福島県
- ③相馬市保健センター（被災者支援）
- ④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで



⑤私は、「家庭訪問は保健師の仕事の原点」と思っています。「出来るだけ多くの方を訪問して保健師の仕事を終りたい」と思い、福島県の任期付職員になりました。

歴史ある相馬市に派遣されて、多くの市民の方々にいろいろなことを教えてもらい、支えていただいて3年8か月が過ぎました。「ありがとうございます」という感謝の気持ちや笑顔を忘れずに、残りの任期を勤めたいと思っています

- ①東 慎一（ひがし しんいち）
- ②福岡県飯塚市
- ③建設部都市整備課
- ④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで



⑤以前から災害復旧支援の仕事には興味がありましたので、とてもやる気に満ちています。

ただ、福岡県に比べると気温はとても低く、夏涼しい間は幸せだったのですが、冬季は寒さとの闘いになりそうです（笑）。

相馬市は、風光明媚な場所が多く、復興が進むにつれ、遠方からのお客様も見られるようになりました。相馬市は日々復興を遂げています。またいつの日か相馬市に戻ってきたいし、まだ見ぬ福島県の魅力を探検してみたいですね。

- ①卯花 幸夫（うばな ゆきお）
- ②千葉県流山市
- ③建設部土木課
- ④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで



⑤相馬市と流山市は姉妹都市の関係にあり、震災発生後、数回復興支援のため相馬市に訪れ当初は被災した道路等の補修などに従事し数年経過した今回、再び訪れる機会を頂きました。

今回は、被災した区域全体の復興計画に掲げられた道路の拡幅改良事業について従事しており限られた期間の中で早期完成を目指し工事が円滑に進められるよう微力ですが皆様の役に立つよう努めてまいります。

南相馬市



①佐藤 秀治（さとう ひではる）

②広島県福山市

③長寿福祉課（介護保険業務）

④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤5年前の震災は、私の人生の中でも印象に残る出来事のひとつです。あの時、東北の人たちの力になりたいという衝動に駆られました。今もその思いは継続中です。

職場は、20数名という所帯ではありますが、上司を始め同僚の皆さんに大変良くしていただき、逆に気持ち良く仕事をさせてもらっています。

残り少ない派遣期間に福島県内を始め、東北地方の各地を巡りたいと思っています。

①加藤 一善（かとう かずよし）

②千葉県鎌ケ谷市

③市民生活部 生活環境課（放射線モニタリング・公害関係業務）

④平成27年4月1日～

⑤南相馬市と鎌ケ谷市は歴史的な繋がりもあり、毎年、鎌ケ谷市の市民まつりでは、南相馬からやってくる騎馬の行列で、まつりを大いに盛り上げてもらっています。

今年で派遣2年目となりますが、復興に向けた市民の方々の協力、また職員の尽力されている姿を肌で感じながら、私も微力ながらそのお手伝いをさせていただいております

①浅井 亮多（あさい りょうた）

②愛知県知多市

③税務課市民税係

④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤愛知県知多市からの派遣職員で税務課市民税係に配属されています。5年前に東日本大震災が起き、現在では復旧・復興が進められている中、そういった状況を自分の肌で感じ、自分にも何かできることをしたいと考え、派遣を希望させていただきました。初めての東北での生活の中で、今後に自分の糧とできるよう、ここでしか経験することができないことをより多く経験し、公私ともに充実した一年を過ごしていきたいと思えます。



①蛸原 康友（えびはら やすとも）

②茨城県取手市

③建築住宅課（復興推進空き家・空き地バンク、宅地分譲など、被災者の住宅確保支援業務）

④平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤震災直後に南相馬市からの避難者を受け入れ、支援する業務に従事したことから、派遣を希望しました。

最初に任された仕事は、不動産に関する未経験の分野でしたが、宅地建物取引士の資格を取得するなど自身にとってもプラスになりました。

福島については様々な情報がありますが、実際に来て、働いて、生活して初めてわかる実情・良さがあります。

復興に向けて変わりゆく被災地の姿を実感しながら、来てよかったと感じています。



①北澤 健（きたざわ けん）

②長野県飯田市

③農政課（米・野菜の放射性物質検査に関わる協議会運営、農業用機械格納ハウス等貸与事業）

④平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日まで

⑤復興のために何か力になれないかという思いから南相馬市への派遣を希望しました。被災された農業者の方々へ農業用機械格納ハウスや育苗ハウスの貸与事業を担当させていただいておりますが、農業者の方々の「ありがとう」の一言が大きな活力となっております。

休日は職場や他の派遣職員の方々とは外出することも多く、楽しく過ごさせていただいております。

限られた時間の中ですが、南相馬市の未来へとつながるよう、努めていきます。

福島市

①池田 遼介（いけだ りょうすけ）

②長崎県長崎市

③建設部道路建設課（道路新設、改良工事の施工など）

④平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

⑤震災後派遣元に入庁した私は、メディアで報道される被災地の状況や復興支援に携わった先輩方のお話を聞く中で、微力ながらも復興に携わりたいという思いが募り派遣を希望しました。着任前は不安もありましたが、派遣先の職場の方々に温かく接していただき、とても居心地の良い環境で業務を行えています。

派遣期間も残りわずかですが、少しでも復興に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。



自治体からの派遣職員の皆さんの他にも、
本県の復興支援のため県外から本県に来てくださった方がいます！

飯舘村

①高橋 舞（たかはし まい）

②飯舘村任期付職員（愛知県から）

③健康福祉課福祉係（児童福祉）

④平成28年5月1日～平成30年3月31日まで

⑤私は大学生の時、災害ボランティアを通して福島県と関わるようになりました。一度愛知県で就職をしましたが、「復興支援に関わりたい。」という思いがあり、飯舘村役場で働き始めました。

健康福祉課の方々は何も知らない私を受け入れてくださり、本当に感謝しています。

愛知県では分からない村の現状や今後の課題など、様々なことを知ることができ毎日勉強の日々です。これからも現地にいないと分からないことをたくさん知り、今後を活かしていきたいと思っています。



平成29年1月発行

編集 福島県総務部市町村行政課

TEL 024-521-7057

FAX 024-521-7904